

戦 評

大会名 第68回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会

男子・決勝

会場名：花巻市総合体育館

主 審：佐々木 泰幸

副 審：多田 直樹

試合結果

<u>盛岡南高等学校</u>		$\left\{ \begin{array}{ccc} 25 & - & 18 \\ 26 & - & 28 \\ 16 & - & 25 \\ 20 & - & 25 \\ & - & \end{array} \right.$	<u>一関修紅高等学校</u>
	1		3

戦 評 試合時間 1時間31分

第1セット、両チーム固さの見られる出だしとなったが、盛岡南は6番佐藤ら計4本のブロックポイントで
中盤以降に突き放し、このセットを先取する。第2セット、一関修紅は序盤から5番佐々木のサイド攻撃で
リードを広げる。対する盛岡南は、6番佐藤のスパイクなどで追いつきセットポイントを得るも、3番菊地（諒）
4番福土のスパイクが要所で決まり、一関修紅がこのセットを取り返す。第3セット、一関修紅は、前セット
から当たりを取り戻した4番福土がスパイクやブロックに力を発揮し、高さで盛岡南を圧倒する。盛岡南も、
2番藤平、6番佐藤の2連続ブロックポイントを含む4連続ポイントの見せ場を作るも、第2セットの勢いその
ままに一関修紅がこのセットも連取する。第4セット、後がなくなった盛岡南は、1番高橋、2番藤平のスパ
イクで粘りを見せるも、一関修紅のブロックが徐々にプレッシャーをかけ、1番仲村のトスワークで試合を
優位に進めた一関修紅が、本大会四連覇を果たした。

※ 7～10行にまとめること。

戦 評 者：及川 晃弘

岩手県バレーボール協会 審判委員会

戦 評

大会名 第68回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会

女子・決勝

会 場 名 : 花巻市総合体育館

主 審 : 新沼 美穂

副 審 : 戸羽 太一

試合結果

<u>盛岡誠桜高等学校</u>	$\left\{ \begin{array}{ccc} 25 & - & 16 \\ 25 & - & 14 \\ 25 & - & 11 \\ & - & \\ & - & \end{array} \right\}$	<u>一関修紅高等学校</u>
3		0

戦 評 試合時間 1時間9分

2年連続21度目の優勝を狙う盛岡誠桜と、初めて決勝まで駒を進め勢いに乗る一関修紅との戦いとなった。

第1セット序盤は両チームともレフトにトスを集め一進一退の攻防だったが、盛岡誠桜6番渡邊のサービスエースで流れを引き寄せ、誠桜が先取する。

第2セット、流れを変えたい一関修紅は途中出場した笹間のスパイクで応戦するも、コートをいっぱいを使い打点も高い盛岡誠桜が勢いをそのままに連取した。

第3セットもリベロを中心に安定した好レシーブをする盛岡誠桜は4番町屋の高い決定力のスパイクで大きくリードする。一関修紅もキャプテン吉田にトスを集め食らいつくも、終始ペースを崩さなかった盛岡誠桜がストレートで下し、優勝に輝いた。

※ 7～10行にまとめること。

戦 評 者 : 佐藤 寛則

岩手県バレーボール協会 審判委員会